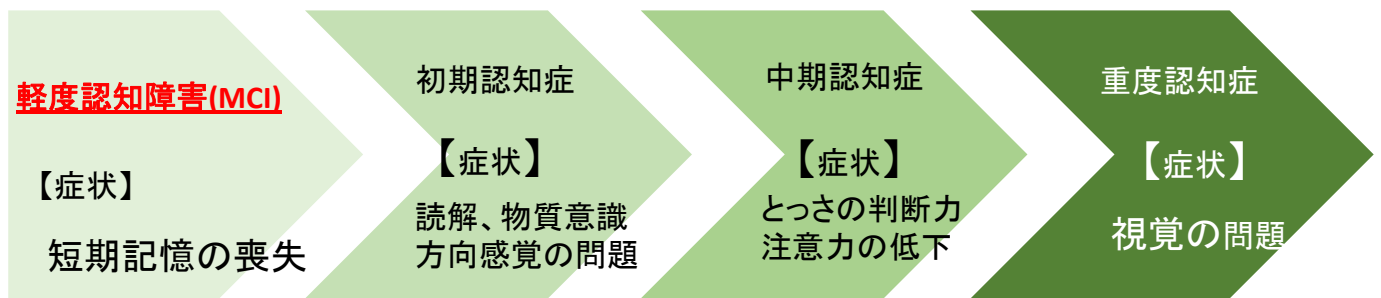


認知症検査

“認知症”原因や種類は様々ですが、日本の認知症の約半数を占めるアルツハイマー型認知症について、そのリスクを調べることができます。認知症は時間の経過とともにアミロイドベータペプチドという物質の蓄積により、神経細胞がダメージを受け発症します。下記の検査では、アミロイドベータペプチドの蓄積度合い・たまりやすい遺伝子型かどうかをそれぞれ調べることで認知症のリスクを予測することができます。



各検査には医師の結果説明アフターフォローも含まれます。



MCIスクリーニング検査

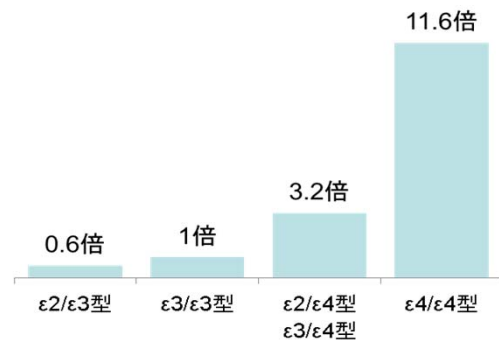
¥25,000

こちらの検査はアミロイドベータペプチドの蓄積度合いを調べます。蓄積度合いを調べることで、認知症の前段階である、MCI（軽度認知障害）のリスクを調べることができます。MCIは日常生活に問題はありませんが、放置すると5年で50%近くが認知症へと進行してしまいます。

ApoE遺伝子検査

¥20,000

こちらの検査は、アミロイドベータペプチドの蓄積・凝集にかかわる蛋白質の遺伝子型を調べます。この遺伝子型は6パターンのタイプがあり、タイプによりアルツハイマー病発症への影響が約3.2~11.6倍も異なることが分かっています。



スクリーニング・遺伝子検査セットコース ¥40,000